

平成 31 年度 (2019 年度) 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	13	学校名	茨城県立大子清流高等学校				課程	全日制		学校長名	大高 淳					
教頭名	石川 浩一								事務(室)長名	有馬 勝也						
教職員数	教諭	36	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	10	実習教諭, 実習講師, 実習助手	9	事務職員	3	技術職員等	9	計	74
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	農林科学科		14	3	6	1	14	1	/	/	34	5	3			
総合学科		18	27	21	25	24	34	/	/	63	86	6				

2 目指す学校像

人間尊重の精神を基盤に、社会の変化に主体的に対応できる、個性的で創造性や国際性に富む、心豊かな人間を育成する。

- 一人ひとりの生徒を大切に、対話を基本としたきめ細かな指導を行う学校
- 自分の将来を深く考え、自分で進路実現ができる能力を育む学校
- 地域と共生し、地域に根ざした教育を行う学校

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・次期学習指導要領で求められる, 「主体的, 対話的で深い学び」に向けた授業改善の取り組みを, 平成 29 年度から継続して行っている。 ・基礎学力を充実させ進路希望を実現できる確かな学力の育成に向け, 少人数授業, 習熟度別授業, 課外授業等を行うとともに, 家庭学習の習慣化を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的, 対話的で深い学び」に向けた授業改善をさらに進め, 生徒の学習意欲の向上に繋げる。 ・確かな学力の育成に向け, 課外授業への参加者増, 家庭学習の更なる習慣化が必要である。また, 上位層を伸ばす指導の工夫も必要である。
時代の変化, グローバル社会に対応できる進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した, 進路希望に応じた体系的なキャリア教育を展開しているが, 進路意識が不十分な生徒, 自分に自信が持てない生徒が見られる。 ・タイ王国カセサート大学附属高等学校との学校間交流事業が 26 年目を迎える。国際教育の柱として大きな枠割りを果たしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部・各種委員会等の活動の活性化, 参加生徒の増を図る必要がある。 ・基本的な生活習慣の確立, 規範意識の高揚に向けた指導, 生徒面談等をきめ細かに行っていく必要がある。
特別活動, 生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「協働する力」や「健やかな体」, 「豊かな心」を育むために, 生徒会, 各部・各種委員会等の活動の活性化を図っている。 ・生徒の基本的な生活習慣, 規範意識を確立させるため, 朝の登校指導, 生徒面談, 生徒相談などを積極的に行い生徒理解に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部・各種委員会等の活動の活性化, 参加生徒の増を図る必要がある。 ・基本的な生活習慣の確立, 規範意識の高揚に向けた指導, 生徒面談等をきめ細かに行っていく必要がある。
開かれた学校づくりに向けた情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・清流だより, 学校説明会, ホームページ, 学校説明会等を通して情報発信に努めているが, 地域及び周辺の中学生, 保護者への浸透は不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生への継続的な「清流だより」の配付, 中学校教員, 塾担当者等への積極的な説明, 情報発信に努める必要がある。

4 中期的目標

- 農林科学科，総合学科（人文科学系列・自然科学系列・福祉系列）のそれぞれの特性を活かし，一人一人の生徒の進路実現に努める。
- 地域からの期待に応え，地域の将来を担っていける人材の育成に努める。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
<p>確かな学力を育む，学習指導の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>生徒の主体的な学習態度の育成</u> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的，対話的で深い学び（アクティブラーニング）」，「学習意欲の喚起」に向けた授業改善と研修の推進を図る。 ・各教科・科目等の特性に応じた言語活動の充実と教科横断的なカリキュラムマネジメントを推進する。 ・課外授業への参加促進と，家庭学習の習慣化（Classiの活用等）を図る。 ● <u>学習指導の充実</u> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力を充実させ，夢を実現できる確かな学力の育成を図る。 ・地元において国公立大学等に進学できる授業，課外授業等を推進する。 ・農林科学科・総合学科の特性に対応した組織的，系統的な指導体制を構築し，魅力ある授業や実習の充実を図る。 ・指導の充実や教育の保証に結びつく観点別学習状況評価実施の推進を図る。
<p>豊かな心，健やかな体を育む特別活動，生徒指導の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>特別活動の充実</u> <ul style="list-style-type: none"> ・探究活動を取り入れた「道徳」の実施や，生徒会活動，各部・各種委員会活動の活性化をとおし，「協働する力」や「健やかな体」，「命の大切さ」や「豊かな心」を育む。 ・勤労体験，スポーツ・ボランティア活動などを推進して「他人を思いやる心」を育む。 ● <u>生徒指導の充実</u> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚を図る。 ・生徒面談等を通じた生徒理解の推進と，心に課題を抱えた生徒に対する生徒相談，カウンセリングの充実を図る。

別紙様式 1 (高)

<p>時代の変化, グローバル社会に対応できる教育, 進路指導の推進</p>	<p>● <u>進路指導の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の各種進路希望に対応できる, 組織的, 体系的なキャリア教育の充実を図る。 ・地元において国公立大学等に進学できる進路指導体制の充実を図る。 ・企業訪問・大学見学会・講演会等をとおして, 望ましい職業・勤労観の育成を図る。 <p>● <u>国際教育等の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ王国カセサート大学付属校との国際交流事業等の充実と, 事業を活用した異文化・自国文化理解教育の推進。 ・英語検定試験や高校生英語実践力向上事業等への取組みの推進。
<p>保護者・地域との連携及び本校教育活動についての情報発信の推進</p>	<p>● <u>保護者・地域・中学校等との連携の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の声の把握に努めるとともに, 太子町, 地域関係団体等との連携を推進し, 地域の教育力の活用を図る (学校設定科目「未来探究」等)。 ・夏の学校説明会の充実を図るとともに, 他の時期の学校説明会・講座等の新設を図る。 <p>● <u>教育活動等の情報発信の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「清流だより」「学校説明会」「ホームページ」等の充実を図り, 本校の魅力ある教育活動を発信する (「清流だより」の町内中学生への配付等)。 ・継続的な中学校・塾訪問等をとおして, 本校の魅力ある教育活動の情報発信を図り, 地域に開かれた学校づくりを進める。
<p>特別支援教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解と教育的ニーズに応じた個別支援の充実を図る。 ・インクルーシブ教育の実現に向けた, ユニバーサルデザイン化と関係専門機関との連携協働を推進する。